

紙容器リサイクル事業に関するアンケート 集計結果

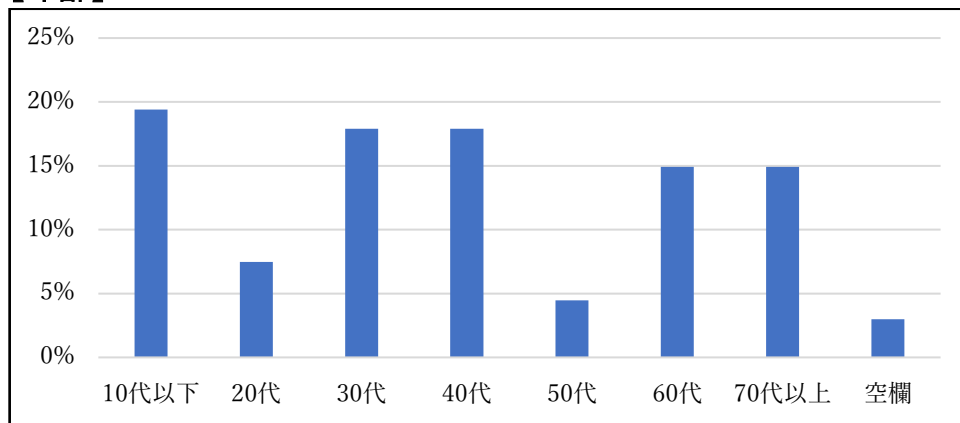
調査日 2022年9月4日(日)・10月16日(日)・11月26日(土)・27日(日)

調査場所 浜松市市民協働センター、佐鳴台協働センター、プレ葉ウォーク浜北

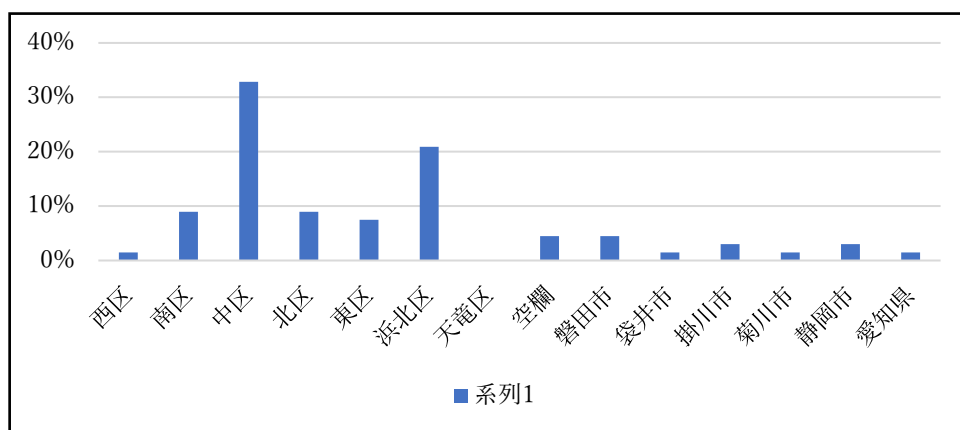
回答者人数 67名

【回答結果】

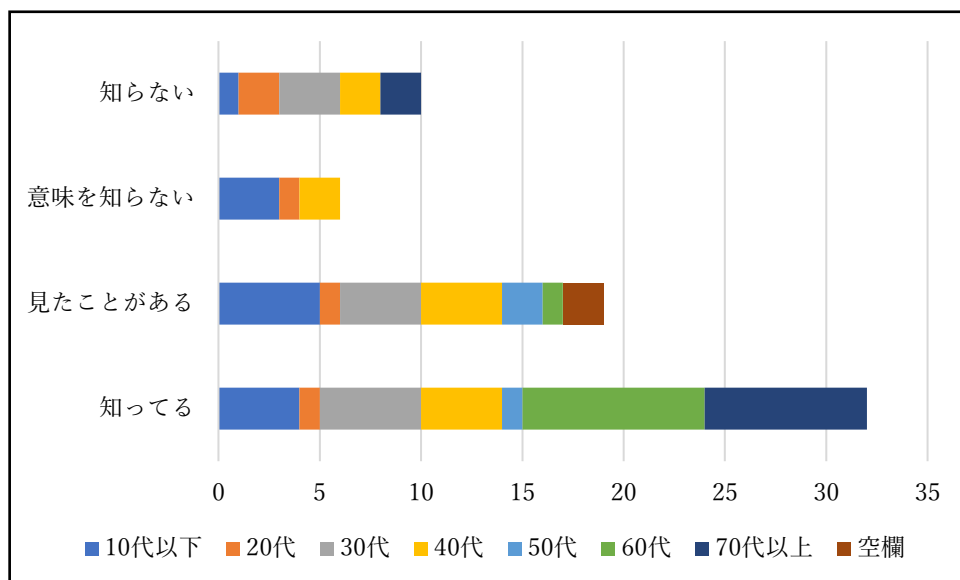
【年齢】



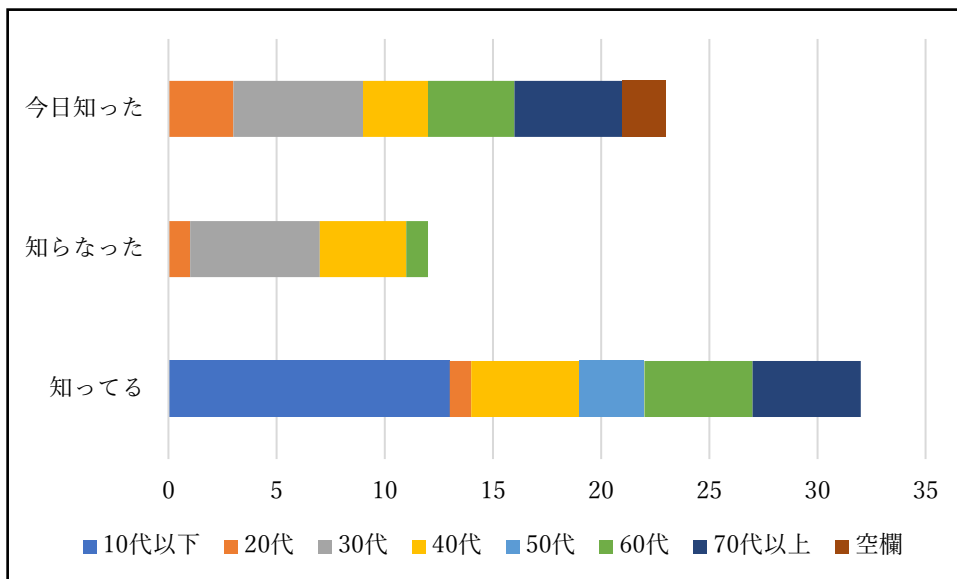
【居住地】



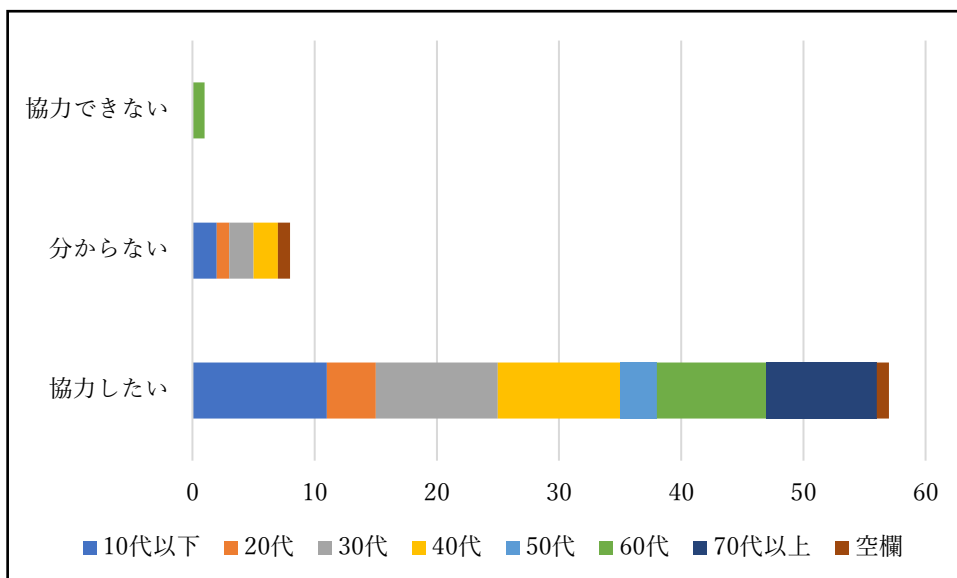
Q1:ごみ分別に役立つ「環境マーク」を知っていますか？



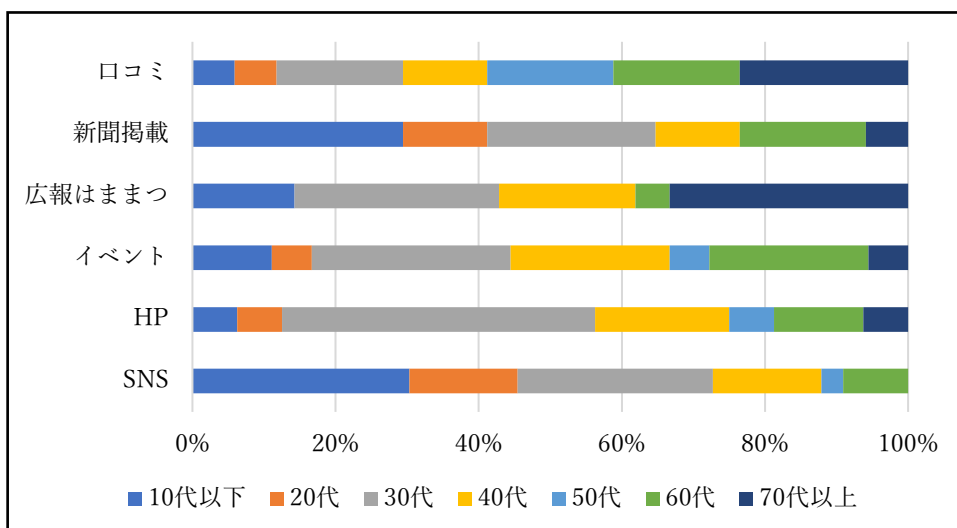
Q2-（1）紙容器がリサイクルできることを知っていましたか？



Q2-（2）今後、紙容器リサイクル事業に協力できますか？

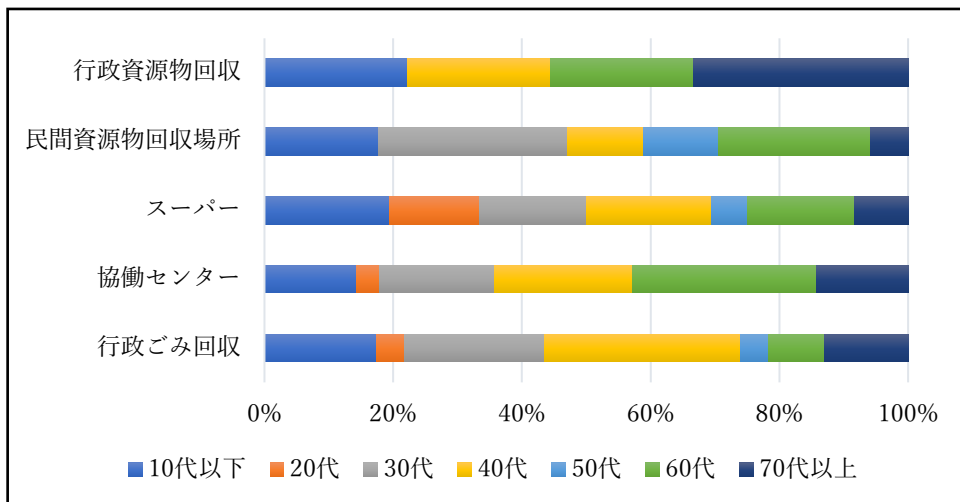


Q2-（3）どのような広報が必要だと思いますか？（複数回答）

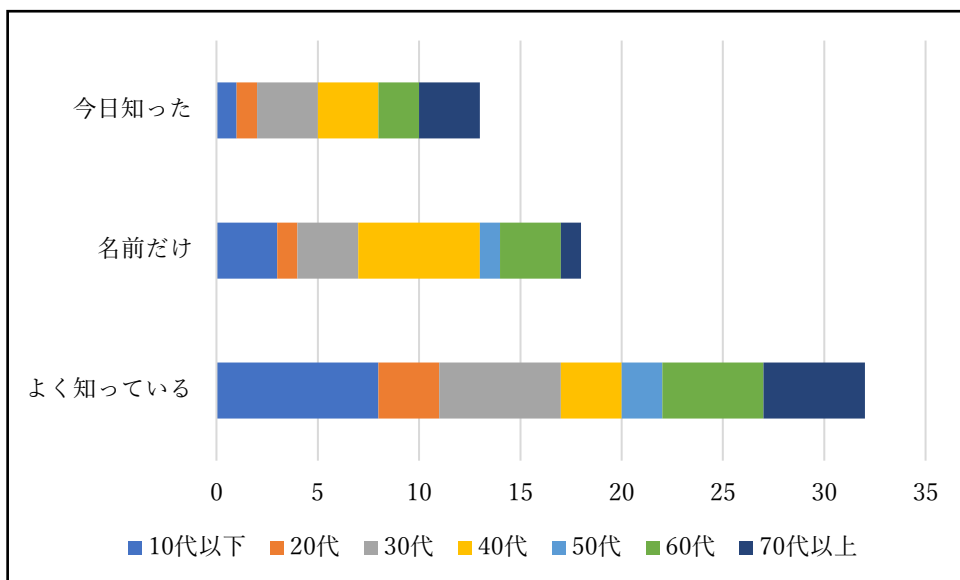


<その他>
 学校教育、職場教育で広報する。
 (40代)

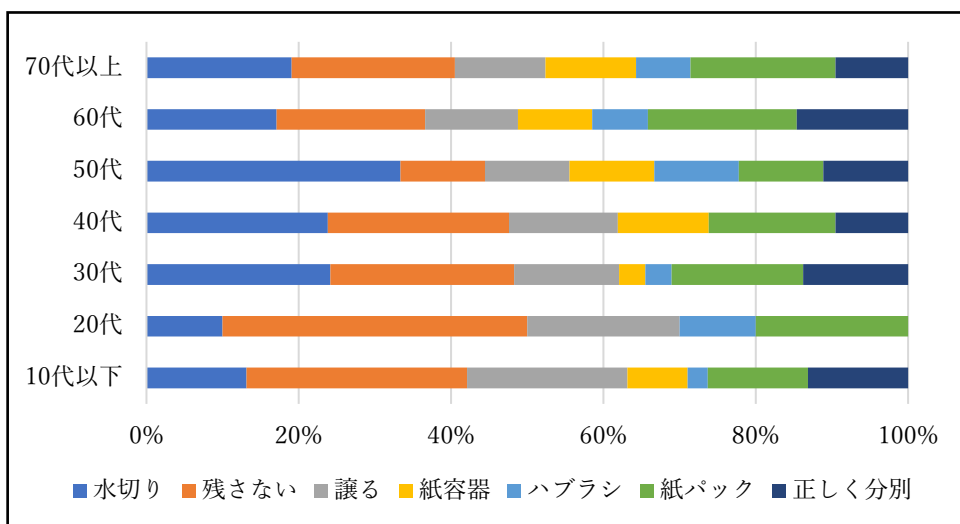
Q2-(4) 紙容器リサイクル回収システムをどのようにしたら協力できますか？(複数回答)



Q3-(1) 3Rを知っていますか？



Q3-(2) 家庭ごみの減量で今後実践したい若しくは実践していること(複数回答)



Q3- (3) 意見・要望 (原文)

意見

- ・1円とか1ポイントとか、キャッシュバック、ポイントバックがあつてよいかと。
- ・この事業(紙容器の回収)は、素晴らしいアイデア。(口頭で「私は、もえるごみに出す時も、洗っていた。手間は一緒だ」)
- ・ヨーグルトの箱、歯ブラシをもえるごみに入れるのはもったいないと思っていました。回収は、大賛成です。

要望

- ・どうぞ、掛川市に来て、この事業を紹介してください。
- ・空き缶・空きビン・ペットボトルの回収を行政はやっている(磐田市は月1回)。紙容器もやってくれれば集まると思う。
- ・学校でいらなくなったプリン類をリサイクルできるようにする。
- ・紙容器の回収を増やして欲しい。

感想

- ・説明が分かりやすく、理解につながりました。ありがとうございます。
- ・3Rを実行すると、きれいな空気と水を将来の世代に世界を作り上げることができる。
- ・リサイクルは、とても大切なことだと思います。協力します。
- ・これから紙容器リサイクルを日本中にひろめたいと思います。
- ・紙ごみを出来るだけ出さないようにする。
- ・とても勉強になりました。また、アンケートをしたいです。
- ・紙容器リサイクルに協力したいと思いました。
- ・家族みんなで協力してリサイクルにつとめる。
- ・未来のために協力したい。

まとめ

- ・環境マークの言葉は知らなくても、商品についているマークの存在と行政資源物に出す際の目安として認識されていることが分かった。また、ごみ出しをしない・分別をしない人には認識されていない。
- ・「紙容器リサイクル事業」の認知度が30%程度であることが分かった。また、半分以上の人からリサイクルに協力したいとの回答を得ることができた。
- ・今後の広報については、年代別に情報収集の方法の違いが分かった。各年代に届くようネットだけでなく広報を行う必要性がはっきりした。
- ・回収方法では、各年代の行動により違いがでた。必ずしも行政ごみ回収や資源物回収がベストではなく、スーパー等の店頭回収には各年代から支持があることが分かった。
- ・20代・30代の年齢層が紙容器リサイクルに取り組みたいと思う広報が必要であることが分かった。